http://decfamily.p1.bindsite.jp/2013NEW/

We 25R

No.339　14/03/19

薬物濫用防止

セイフティー教室の感想を紹介しよう。

＊

●小学校・中学校の頃から、一年に一度、このようなビデオを見てきたし、保健体育の授業の中でも知識を得ていたので、知っているつもりだったが、やはり薬物の影響は恐ろしいなと感じた。今現在、この日比谷の環境だとあまりそういうことに巻き込まれることは考えにくいが、大学、更には社会に出てからは、そういうことが無いとは限らない。自分が注意することももちろんだが、周りにも気を配るようにしたい。（Ｓ）

●薬物は自業自得だ。身も心も破壊するその凶器は、自分の行動結果によるものである。警察の人は言う「断る勇気を持て」と。だが、それができないから薬に染まってしまうのだ。自分のやることをやり、不安ではなく自信をもって生きることの重要性を薬からも教えられた。（Ｋ）

●薬物はすべて同じではなく、種類によって症状が異なり、薬の強さも様々であることが分かった。ヘロインが特に強いと聞いたので気をつけたいと思う。また、名称もスピード、Ｓ、エクスタシーなど、薬っぽくない名前で呼ばれているので気をつけるべきだと思う。自分は大丈夫だと思っていると、思わぬ事件に巻き込まれるかも知れないので、薬を入手宇してしまいそうな所には行かない、また、断るということが大事だと思う。（Ｈ）

●一度始めたらもう止められないと聞き、とても怖いと思った。止めてもフラッシュバックしてしまうところも怖いと思った。私は薬物に関わりたくないし、見たくもないし、薬物を持ってる人がいたら、遠く離れたいと思った。断るのが大切だと言っていたが、まず誘われるような人と関わらないように、交友関係をしっかりしていきたい。（Ｏ）

●薬物は本当に怖いものであると改めて分かった。しかし、その恐ろしさとは裏腹に、入口はすぐ近くにあり、誘いの手も街の中の至るところにあるものだと知った。また、それらを売る人も、法の目をかいくぐり、上手くすり抜ける方法を分かった上で行っているので、なおさらたちが悪いと思った。（Ｔ）

●私の小学校の時の同級生に、薬物に関わってしまった人がいる。特に仲が良かったというわけでもないので詳しくは知らないが、確かに普通とはちょっと違ったような人であった。今日のＤＶＤを見て、こんな状況はあり得ないとか、自分の周囲では絶対にないなどという声が聞こえてきたが、実際に身の周りで問題があるのである。小学校の頃から同じようなＤＶＤで「またか」とは思ったが、改めて同級生のこと思い出し、薬物は絶対に手をだしてはいけないと思った。（Ｏ）

●私は薬物になど手を出すことはないと思っている。なぜなら私には断る自信がある。しかし、運び人となる可能性はある。今日、講師の先生が一年間に大量の薬物が押収されているという事実をおっしゃっていたからである。ＤＶＤで外国で口車に乗せられて運び屋になってしまうというケースがあったが、私はだまされる”自信”がある。これからは、ああいったものにも注意して、断らなければならないと思う。（Ｍ）